





イタリア出身の優雅なジュニアリスト マリさん

ミッソーニをシックに着こなしたマリさんは、以前、イタリアで展示やショッパのジュニアリストとして担当していた。ジュニアリストとして独立して1年。イルムスボリフスのイタリアコーナーのディスプレイなどを担当するほか、2つのゲストハウスを運営し、その抜群のセンスは、ヘルシンキのデザイナーたちも一目を置いている。ちょうど、後述のラウラさんの会社設立1周年記念パーティを行うため、ゲストハウスには若いデザイナーたちが集まっていた。

「彼らはペンタゴンというデザインユニットのメンバーよ。ヘルシンキでもっとも注目されている若手なの。パーティのために、アアルトのアイスキューブを飾るんですって。素敵じゃない？」

マリさんがディスプレイすると作品がさらに輝きを増す。快活で優雅なジュニアリストは、コーディネートのお手本も示してくれる。

ヘルシンキの輝かしいマネージャー ラウラさん

ラウラさんは2005年に「Huippu / Design / Management」という会社を設立。ヘルシンキを拠点に活動するデザイナーのマネジメント、展示会のプロデュース、業界のPRなどを手がけている。現在マネジメントしているのは、ハリ・コスキネンやイルッカ・スツパネンなどフィンランドを代表するプロダクトやグラフィックのデザイナーたち。また、2006年6月にはイタリア120周年記念のパーティを仕切り、人気のDJたちを招いて音楽とデザインのコラボレーションを成功させた。

「音楽業界にもいたことがあって、そのとき思ったの。音楽の世界にはアーティストをマネジメントする仕組みがあるのに、どうしてデザイン業界にはないのかしら、とね」

彼女自身もともとデザイナーであり、アラビアとイタリアで働いた経験があるため、企業とデザイナーがそれぞれに何を求め、何を提供できるのかを熟知している。いまや売れっ子デザイナーを数多く抱えた頼もしい存在である。

